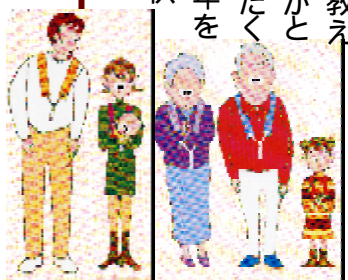


五十年に一度の勝縁

一六二二年（弘長二年）に、御年九十歳でお浄土にかえられた親鸞聖人の五十年に一度の大法要を「だいおんき」と呼びますが、私たちの人生にとっても一生に一度の「だいおんき」が平成二十四年（二〇二二年）一月とあと四年後にせまっています。本願寺では、三年後の平成二十三年四月より御正當の平成二十四年一月十六日まで大法要が勤まります。

「生涯をかけてこの私に真実のみ教えを届けてくださった親鸞さまにありがとう申し上げます」とお礼を申させていただけると共に、五十年に一度の「勝縁」の年も「お寺も家族も地域も、大人も子供も」みんなでお迎えしましょう。



浄光寺での大遠忌法要は平成25年秋に決定!



みんなでお迎えよう「だいおんき」

「しんらんさまありがとう」の輪をひろげよう

去る七月十九日に浄光寺世話人会総会が開催され、門徒会の収支決算予算や親鸞聖人七五〇回大遠忌の浄光寺としての取り組みについて熱心に協議がなされました。

話し合ひでは、大遠忌に向けて「活気あふれる元気な寺、明るく楽しい寺、お念仏の響く寺をめざして」という目標を掲げ、「みんなでお迎えよう大遠忌「しんらんさまありがとう」の輪をひろげよう」というスロガンのもと、今日から具体的な歩みを進めて行くことが満場一致で決議されました。

又、浄光寺での大遠忌法要は五年後の平成二十五年秋に厳修することとなりました。

親鸞聖人七五〇回大遠忌に向けて「浄光寺としての取り組み」

以下のことが、世話人会総会で決議されました。

- 一、目標
 - 「活気あふれる元気な寺、明るく楽しい寺、お念仏の響く寺をめざして」
 - 私たち一人一人が、お寺についての将来像、十年先、二十年先、わが寺はこんなお寺でありたい、こんなお寺にしたい、浄土真宗の門徒として私はこうありたい。将来に向かっての具体的な姿、夢を描こう。
 - 二、スロガン
 - 「みんなでお迎えよう だいおんき」
 - 「しんらんさまありがとう」の輪をひろげよう
 - 三、具体的な歩み
 - 1、親鸞聖人七五〇回大遠忌法要
 - 本願寺団体参拝の計画と募集
 - 期日 平成二十三年中（一泊三日）
 - 2、お待ち受け法要
 - 福屋組「大遠忌お待ち受け法要」の実施
 - 期日 平成二十一年中
 - 3、浄光寺での大遠忌法要
 - 期日 平成二十五年秋
 - 4、大遠忌に向けて
 - みんなでお迎えよう「だいおんき」啓蒙運動の展開
 - だいおんきバッチ着用
 - だいおんきシールを貼ろう
 - 仏旗を立てよう
 - 「しんらんさまありがとう」のほりを掲げる
 - 「親鸞聖人七五〇回大遠忌」の垂れ幕を本堂に掲げる
 - その他
 - 記念事業の展開
 - 環境整備やバリアフリー（車椅子でもお参り出来るお寺）など検討中
 - その他
- 寺院及び門信徒会運動の見直しとバリアフリーの教化活動の推進

親鸞さまありがとうございます

親鸞聖人750回大遠忌法要まであと3年!

身も心もすこやかに 明るく楽しく
「だいおんき」の年をお迎えしよう!

だいおんきバッチ



「だいおんきバッチ」を門徒式章に、上着の胸や、帽子に

だいおんきシール



「だいおんきシール」を車やバイクに、家の玄関や茶の間に

すべての「門徒の胸に」「だいおんきバッチ」を！
家庭に車に「だいおんきシル」を！
みんなで「だいおんき」の発信者になろう
「しんらんさまありがとう」の輪をひろげよう

親鸞聖人七百回大遠忌法要

於浄光寺

本山法要修行期日

二〇二一年七月

二〇二一年七月

八月は児童・青少年を対象とした法要行事

二〇二二年平成二十四年

一月九日、十六日

四月九日、十六日

五月九日、十六日

六月九日、十六日

九月九日、十六日

十月九日、十六日

十一月九日、十六日

懐古 妙好人善太郎銅像建立除幕式法要



大遠忌法要は三日間勤まる

昭和四十一年十一月十九日～二十一日、三日間に亘り七百回大遠忌法要が浄光寺にて盛大に勤まりました。記念事業として、本堂内陣莊嚴・客殿建立・塀築造・妙好人善太郎銅像建立等がなされました。

上の写真は善太郎さんの銅像除幕式法要の様子です。法要初日の十九日、溢れんばかりの門信徒がお参りされ勤められました。

